科目ナンバリング	U-LAS03 10003 SB48						
授業科目名 <英訳>	外国文献研究（文・英）B-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Letters, English)B-E1			担当者所属 職名・氏名	文学研究科　准教授　伊藤　憲二		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2024・後期	曜時限	金3	配当学年	2回生以上	対象学生	文系向

[授業の概要・目的]

科学論の基礎的素養を身に着け、当該分野の英語文献の読解能力・日本語運用能力を養うために、Massimiano BucchiのScience in Society: An Introduction to Social Studies of Science (Routledge 2004)を日本語訳しつつ精読する。

本書は科学社会学・科学技術社会論のコンパクトな入門書である。前提知識を要求せずに、2000年ごろまでのこの分野の基本的な概念や重要な研究が簡潔に説明されている。本文141ページと短く、一学期の間に一冊を一通り無理なく読むことが可能である。内容的には、ロバート・K・マートンの科学社会学、とくに有名なCUDOS（communalism 共有主義、universalism 普遍主義、disinterestedness 無私性、organized skepticism 系統的懐疑）を巡る議論、トーマス・クーンのパラダイム、科学革命と通常科学の概念、デビッド・ブルアのストロング・プログラムと科学的知識の社会学（sociology of scientific knowledge, SSK）、実験室研究とアクターネットワーク理論(actor network theory, ANT)、技術の社会的構築（SCOT, social construction of technology), サイエンス・ウォーズ、科学コミュニケーションなどを扱う。

[到達目標]

・科学論分野の文章を読むためのリテラシーを身につける。
・英文を精確に読み、分かりやすい日本語に置き換える能力を高める。
・現代の科学技術社会論で使われる主要な概念を理解する。

[授業計画と内容]

第1回　ガイダンス Introduction
第2回～第14回　講読（日本語訳を原文と比較して討論）
第15回　フィードバック

具体的な進め方は以下の通り。
第1回：
担当教員が授業の進め方とこの本の概要を説明し、この本のIntroductionを日本語訳する。
第3回以降の担当および第2回以降の指定討論者を決める。1回あたりの担当分は下記のようにA5サイズの本で10頁程度だが、節ごとに区切るので、多少、分量が増減することがある。担当者は担当箇所のうち、重要度が高い、あるいは難易度が高いと思われる半分ぐらいを日本語に訳し、残りの部分を日本語で要約する（どの部分を、どの程度の量日本語訳するかは担当者に任せる）。指定討論者は原則として前回の担当者、第2回は最終回の担当者とする。
第2回分は担当教員が担当し、第1回に日本語訳を配布する。

第2回以降　授業の前までに：
前回に配布された日本語訳・要約を全履修者が事前に検討する。
次回の担当者は、その授業の前までに次回の日本語訳をPandAにアプロード（または担当教員に電子メール等で送付）する（第14回を除く）。

外国文献研究（文・英）B-E1(2)へ続く↓↓↓

第2回以降　授業中：
授業では、前回までに配布された日本語訳・要約を検討した結果を持ち寄って、質疑応答・討論をする。
まず、指名討論者が事前に検討した結果を報告する。
その後、履修者全員で日本語訳・要約を議論する。
適宜、担当教員が内容についての背景説明や解説を加える。

第2回以降　授業の後：
担当教員は、その回の授業の参考訳を授業後にPandAにアプロードする。

各回の担当箇所の章・節および頁は次の通り：
1) 1-4**頁**
Introduction

2) 5-14**頁**
Prologue
1. The development of modern science and the birth of the sociology of science
1-1 From‘little science’to‘big science’

3) 14-23**頁**
1-2 The birth of the sociology of science
1-3 The Mathew effect and the forty-first chair

4) 25-33**頁**
2. Paradigms and styles of thought
2-1 A plant that divides botanists
2-2 Science and revolutions

5) 33-48**頁**
2-3 Why is the cassowary not a bird?
3 Is mathematics socially shaped?
3-1 The planet that could only be seen from France

6) 48-59**頁**
3-2 Is even mathematics‘social’?
3-3 The weaknesses of the strong programme

7) 61-70**頁**
4 Inside the laboratory
4-1 A fascinating experiment
4-2 Inside the controversy

8) 70-82**頁**
4-3 Science as two-faced Janus: actor-network theory
5 Tearing bicycles and missiles apart: The sociology of technology

外国文献研究（文・英）B-E1(3)へ続く↓↓↓

5-1 The Importance of a stirrup
5-2 The clockmaker who astonished the astronomers

9) 82-92頁
5-3 A mysterious cyclist
5-4 Beyond innovation: What really happened in the skies above Baghdad?

10) 93-106頁
6‘Science wars’
6-1 Hoaxes and experiments
6-2 Have we never been sociologists of science?
6-3 What sociology of science

11) 107-114頁
7 Communicating science
7-1 The mass media as a dirty mirror of science
7-2 Journalists and the difficult art of mediation
7-3 Is the public scientifically illiterate?
7-4 The role of scientists

12) 114-123頁
7-5 The public communication of science as the continuation of the scientific debate with other means

13) 125-133頁
8 A new science?
8-1 A changing science
8-2 From the double helix to three billion steps
8-3 From academia to the stock exchange
8-4 From specialist papers to the front pages of the newspapers

14) 134-145頁
8-5 A map of contemporary science?
Suggested further reading and interesting websites

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点100%。担当実績、授業参加の積極性などで総合的に評価する。希望により、レポートなどの提出とそれによる評価を認めることもある。

[教科書]

Massimiano Bucchi 『Science in Society: An Introduction to Social Studies of Science』（Routledge 2004）
ISBN:0415322006

外国文献研究（文・英）B-E1(4)へ続く↓↓↓

外国文献研究（文・英）B-E1(4)

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介するほか、教科書の末尾にある"Suggested further reading and interesting websites"を参考にしてください。

[授業外学修（予習・復習）等]

担当者は担当回の前の回までに担当箇所の英文のうち、重要度が高い、あるいは難易度が高いと思われる半分ぐらいを日本語に訳し、残りの部分を日本語で要約する（どの部分をどの程度の量日本語訳するかは担当者に任せる）。その日本語訳および要約を担当回の前の回までにPandAにアプロード（あるいは担当教員に電子メールなどで送付）すること。
担当者以外は、事前にPandAにアプロードされた日本語訳・要約を検討し、コメントや質問を整理しておくこと。とくに指定討論者（原則として前回の担当者、第2回は最終回の担当者）は指定討論者として次回の授業で最初に検討結果を報告する準備をしておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

提出物のやり取りや配布にPandAを使うので、PandAが使用可能であることが望ましい。使用不可の場合は相談すること。
作成した日本語訳を相互に批判し合うことになるので、礼儀正しく謙虚な態度で生産的に議論する姿勢を期待する。